

## C型ウイルス肝炎の研究

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2297/9107">http://hdl.handle.net/2297/9107</a>

## C型ウイルス肝炎の研究

東京都臨床医学総合研究所微生物  
服 部 信

ウイルス肝炎の存在は、既に Hippocrates (460-377 B. C.) の時代から知られていた。G. Cleghorn は、1751年ロンドンから、スペインの地中海のミノルカ島における英国兵士の1744~1745年のウイルス肝炎発生を報告している。

C型ウイルス肝炎は典型的医原性疾患である。ドイツのブレーメンで働く1289名の船渠の職工に、human glycerinated lymph 接種が実施され、数週間で191名の黄疸患者が発生したとの A. Lürman の発表 (Eine Ikterusepidemie. Berl. klin. Wsch. 22: 22-23, 1855) が嚆矢であった。駆梅療法後肝炎 (J. Stokes ら, Arch. Int. Med. 26: 521-543, 1920)、アフリカにおける黄熱ワクチン接種後肝炎 (G. M. Findlay ら, Tr. Roy. Soc. Trop. Med. & Hyg. 31: 297-308, 1937) が既に知られていた。そして、1941年12月第二次世界大戦勃発後 human lymph 添加黄熱ワクチンが、多数の米国兵士に接種され、1942年2月から肝炎が発生し、49,233名の肝炎患者のほとんどがワクチン接種によるものだった。1942~1945年の間に全米軍で182,383名の肝炎患者が発生した。黄熱ワクチン接種により重篤な黄疸に罹患したエール大学予防医学 John Rodman Paul 教授は、真珠湾攻撃の4ヶ月以内に多数のウイルス肝炎が発生し、もう一つの予期せざる爆弾の如く、米軍隊は襲来を受けたと述べた (Viral hepatitis, in Preventive Medicine in World War II. Vol. 5, Washington, Department of the Army 5: 41-462, 1960)。

私は、昭和37年国立がんセンター病院に奉職した。開院と同時に、多数の癌患者に手術が施行された。当時売血制度だったため、輸血後肝炎が頻発した。久留 勝病院長は心痛され、外科の長谷川博、内科の私に、院内輸血後肝炎実態調査を命ぜられた。私がウイルス肝炎の仕事始める動機となった。1965年 B. S. Blumberg による Australia 抗原の発見、1973年 S. M. Feinstone による A型肝炎ウイルスの発見後も、C型肝炎ウイルス研究

は、多数の著名な研究者の努力を嘲笑するように失敗の連続だった。然し、1988年5月10日、米国のベンチャービジネスの Chyron 社の M. Houghton らは、新聞記者の前に、C型肝炎ウイルス抗体測定系の開発に、分子生物学的手法を利用して成功したと発表し、1989年 Science 誌上に2論文を発表した。

私は昨年始狭心症症状を強く感じ職を辞した。その後健康の許す範囲でささやかに東京都臨床医学総合研究所微生物部門に参画している。ここではユニークな研究がなされている。小原道法・京子夫妻は、C型肝炎ウイルスの second group を発見した (Virus Genes 5: 243-254, 1991)。当時、基礎ウイルス学者から高い評価を、臨床肝臓病学者より完全な無視をうけた。second group の構造を利用したウイルス抗体測定法を発表し広く臨床に用いられるようになった。ウイルス抗体測定法実施により、猖獗を極めた輸血後肝炎は殆ど発生しなくなり、使い捨て注射器注射針使用により、急性C型肝炎発生は激減した。慢性肝炎に対するインターフェロンに、subgroup 別に差があることも、研究所微生物と東京都立駒込病院肝臓内科の協同研究で明白となった。subgroup の測定は PCR でされているが、金沢大学を含めての全国施設の協力を得、EIA 法で、大量に安価に迅速に測定できる方法も研究所微生物で完成された。研究所微生物では、このウイルスの電子顕微鏡所見撮影にも成功した。C型肝炎ウイルスの研究は正にこれからであり、日米間に激しい国際競争が続いている。C型肝炎ウイルス肝炎の医療費は34兆円になると推定されている。「眼前に横たわる患者は、臨床医の明日からの研究課題である」とは、わたしの恩師沖中重雄先生の言葉だが、C型肝炎ウイルス肝炎は私にとって正にそうなのである。私共は昨年末、C型肝炎 HCV 解明から IFN 療法の実際なる一冊の本を世に送った。幸いにして版を重ねることができている。